

実践事例演習 I 事前課題「理論を言語化する」

事前学習資料、ワークブックⅡ掲載 (p 21～40) の『新 社会福祉援助の共通基盤 第2版』上巻の「社会福祉士がとらえる相談援助 第4節 社会福祉援助活動の展開過程」を読み、社会福祉士取得を目指している学生に説明をするためのレジюмеを作成してください。

(※下線部分と以下の枠内が、ワークブック p 20 の事前課題との変更箇所です)

- レジюмеは、A4用紙1枚から2枚で、配布用資料としてまとめてください。
レジюмеの先頭に、受講者番号、受講者氏名を必ず記載ください。
- レジюмеの内容は15分で発表できるようにまとめてください。なお、発表においてプロジェクター等の機材は使用できません。
「理論を言語化する」のが本演習のテーマですので、ご自身のまとめ方でレジюмеを作成してください。そのため、学生に質問し学生が説明するだけのまとめ方は、課題の意図に合いません。
- レジюмеは、7部準備してください。1部は受付で提出していただきます。
- 事前課題の提出がない場合は、講義の出席は認められません。

◎事前課題の提出のお願い

- ・提出締切： 2023年7月14日(金)
- ・提出先：kensyu-kadai@hacsw.or.jp
 - ★件名に「基礎Ⅱ 7月14日提出課題」とご記入ください。
 - ★添付する課題には、必ず受講者番号・お名前をご記載ください。
 - ★課題を作成する際に、ファイル名は「受講者番号+お名前」としてください。
入力例：受講者番号2023201 福祉太郎さんが課題を提出する場合
「2023201 福祉太郎」と入力してください。

集合研修4「実践事例演習」(研修③「実践事例演習」)では実際にレジюмеを使用し発表していただきます。作成したレジюмеを使用しての内容説明ができるようにしておいてください。